

# 10月のささやまっこだより

令和4年10月1日  
篠山保育園  
園長 足立善一郎

運動会をやり遂げ充実感に満ち溢れている子どもたちの歓声が、秋の青空に響き渡っています。運動会后、早速ふじ、ばら組さんのリレーが始まりました。「今度こそ、1位になってやる!」とばかりに運動会の時以上に燃えていたようでした。身体を思い切り動かす楽しさを知った子どもたちはこれから少しずつ、芸術の秋、読書の秋といわれるように絵本を読んだりおもちゃでじっくり遊んだり『動』のあそびから『静』のあそびを繰り返していきます。物事にゆっくり集中することが心地よく感じられるようになります。このような流れで12月の保育展へとつなげていきます。これから少しずつ気温が下がっていきますが、いきなり厚着をしないようにご配慮ください。「病は気から」と言われます。小さいときから「寒さに負けないぞ!」、「薄着でもだいじょうぶ」という気構えがあると風邪もひきにくく、病気になったとしても早く治るように思います。ただし、病気になった時は「どうしたら早く治るのかな」と親子で考え、体を守ることも伝えていかななくてはなりません。4、5才の時から自分の体を大切にすることを学んだ子どもは、きっとその後も「自分を大切にすること」が芽生えていくように思います。



## 足に合った靴をはいていますか？

すぐに成長するからと、つい、合わない靴をはかせていませんか？靴が足に合っていないと、不自然な足の使い方、歩き方のまま足が育つこととなります。成長著しいこの時期こそ、適切な靴選びが重要なのです。再度見直してみましょう。

### つま先にゆとりがある

理想は5mm。すぐに成長することを考え、5~9mmのゆとりがあるものを。指が自由に動かせるように、つま先が広がって厚みがあることもだいじ。

### 調整ベルトがついている

足を固定し、足と靴を一体化させる。



### 柔らかく、クッション性のある靴底

足の動きにフィットする柔らかさと、地面からの衝撃を和らげるクッション性が必要。

## 10月の行事予定表

- 13日(木) 第2回内科健診(14:30~)  
音研日本太鼓指導(ばら組)
- 14日(金) 事業後援会役員会
- 15日(土) 園内研究会
- 19日(水) ばら組山登り(ばら組のみお弁当)
- 20日(木) 避難訓練
- 25日(火) 誕生会

17日・31日…えいごであそぼう(ばら組)  
3日・24日…えいごであそぼう(ふじ組)

## 11月の行事予定表

- 9日(水) 防火パレード(ばら組)
- 12日(土) 園内研究会
- 17日(木) 避難訓練
- 25日(金) 誕生会  
事業後援会役員会

14日、28日…えいごであそぼう(ばら組)  
7日、21日…えいごであそぼう(ふじ組)

ばら組さんの山登りは、森林公園をめざします。詳しくは後日お知らせします。



## 園庭駐車場についてのお願い

園庭駐車場は駐車スペースが限られています。特に、午後5時30分から6時までは、お迎えが集中しますので、お迎えが終わりましたら迅速な車の出庫にご協力下さい。

また、お迎え時の園庭での遊びは、事故防止のため禁止にしていますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 『すぐ抱っこ抱っこ、甘ったれで困ります』2歳児母

### <行動の意味>

「抱っこは「心の浮き輪」、子どもにとって“安心”できること」とかく、子どもはすぐに「抱っこ」と言いますが、いろいろな場面によって、抱っこの意味合いも異なります。知らない人と出会って不安な時や、困った時、転んで痛いときなどは、必要不可欠な存在であるお母さんにまずは抱っこをせがみ安心したいのです。人間以外の動物は、危機的状況におかれると必死で逃げますが、人間の子どものみは、泣いたり抱っこを求めます。抱っこは「心の浮き輪」であり、避難場所なのです。



また、一緒に歩いていてすぐに抱っこという場合もあります。子どもは大人のように目的をもって歩いているわけではないので、少し歩くと飽きてしまうこともあります。決して足腰が弱いわけでも、疲れているわけでもありません。

### <対応法>

#### 「甘えは大事」。たくさん抱っこしてあげましょう

抱っこを求められたら、甘ったれで困る、ではなく「不安だったの?」、「痛かったの」と、言葉にして安心させて、できる限り、抱っこをしてあげましょう。子どもは抱っこされて安心し、自立していきます。抱っこは信頼感を表し、精神生活に欠かせない役割を持ちます。抱っこができない場合でも、手を握ったり、抱っこできない理由を説明してあげましょう。子どもはひとりの人間として尊重されているとわかれば、我慢できるものです。一緒に歩いている時の抱っこは、「あそこの電柱までね」など、目標を決めて折り合いをつけたり、「ワンワン見に行こうね」、「お店まで行こうね」など、子どもにも目的をもたせるといいでしょう。決して、「歩かないと置いていくよ」などという言葉はかけてはいけませんよ。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」今村和子 著

## ひとくち童話 「ことりのさくせん」

東 君平 著

かきのみが なっていました。  
とりがきて、つつこうとしました。  
かきは「ぼくは しぶいぞ」といいました。  
ことりも「わたしは しぶいほうがすきよ」といいました。  
あわてたかきは「ほんとうは あまいんだ」といって  
たべられてしまいました。

